

活動推進NEWS No.6

消費税増税STOP「意見広告」

●発行日2014年2月26日

●消費税廃止各界連

「意見広告」デスク

豊島区目白2-36-13(全商連内)

Tel:03-3987-4391

Fax:03-3988-0820

このニュースは各県各界連・加盟団体にお送りしています。ご活用下さい。

話し合えば、どこでも誰でも「やっぱり中止しかない」!!

多くの声を全面広告で届け、潮目変えよう

●「一回送金しましたが、再度役員会で話し合い、なんとしても増税中止させようと、もう一回り訴えています」(東京・新宿)との熱い声も届いています。知人友人へ声かけ、広げてください。●事務局への送金をお急ぎください。

【熊本】

熊本県各界連は、自主目標の750口達成に大手がかりました。県商連は目標の半分をやりきろうと、春の班会で全商連のDVDを見たあとに賛同を訴え、みんな「よし!」と快く参加。民医連では職場ごとに袋を回し110口を超えました。県建築労働組合も、100口を超え、まだまだ奮闘中です。

【京都】

京都各界連は、独自に大判の賛同袋を作成し、いろいろな集まりでカンパ賛同を訴えています。最初は消極的だった組織も、役員会できちんと意義を話し合うと、「それは重要だ」となり、目標以上の賛同が集まっているのが特徴です。

府知事選挙の取り組みと合わせ、2月15日には「北区商店街作戦」を行い、25人で新大宮商店街、御園橋商店街の76軒を訪問。67軒と対話、44軒が消費税増税アンケートに回答。景気回復実感は薄く、消費税増税への怒りとともに転嫁について迷う声が寄せられました。「顧客は年金生活者が大半、ますます客足が遠のく。年金が下がる、公共料金は上がる。気持ちをルンルン気分にしないと買い物しない」(婦人衣料)、「大企業やアメリカの意向に沿って増税、

原発再稼働、TPPをすすめる自公政権は最悪。野党の力を結集して」(木工制作販売)など。「小麦粉・油など原材料があがっているが、値上げは様子見だ」(飲食)との声も。「消費税8%→転嫁できる」という意見が結構ありましたが、「転嫁しないとやっていけない」という苦しい選択が透けて見えました。

●京都・商店街アンケート結果から●(抜粋)

□景気回復について

「実感ない」(68%)「変わらない」(23%)・合計91%が「景気回復」とは受け止めていない。

□8%増税で経営にどんな影響があると思いますか？

「悪くなる」(69%)、「分からない」(31%)。「良くなる」「影響なし」は皆無。

□8%に備えた対策は考えていますか？

「考えていない」(55.6%)、「分からない」(16.7%)と

□8%になった場合、消費税を販売価格に転嫁できますか？

最も多いのが、「転嫁できない」(47.2%)、「部分的に転嫁できる」(16.7%)、「転嫁できる」(33.3%)

□来年10月の消費税率引き上げ(10%)に賛成か？

75.7%の大多数が「反対」と回答。「賛成」は2.7%。